

## アンバー・ランド Amberland

洪 亜沙  
HONG AHSA

2019年7月26日|金\_\_8月11日|日 11:00 - 19:00  
月曜日休廊 / 金曜日20:00まで Gallery PARC [ 2~4階展示室 ]

2014年より開催しているギャラリー・パルク主催による展覧会企画公募「Gallery PARC Art Competition」。6回目となる本年は、応募総数64プランから、厳正な審査により採択された3つの展覧会を前期・後期に渡って開催いたします。7月5日から7月21日までの前期展示となる[#01]では、2~3階展示室で加藤舞衣による個展「部屋と外」を、4階展示室~屋上で坂口佳奈・二木詩織による展覧会「キャンプができたらいいな。」を同時開催いたしました。本展はその後期展示にあたる[#02]として、パルクの全フロアを会場に、洪亜沙による個展「アンバー・ランド」を開催いたします。

### C.V.

#### 洪 亜沙 HONG AHSA

1996 大阪府生まれ  
2018 嵯峨美術大学 芸術学部造形学科 油画分野 卒業  
現在 嵯峨美術大学 大学院芸術研究科 在学

#### [展覧会]

- 2019 On the Steps 2019 (Steps Gallery / 東京)
- 2018 うのぞみ2018 (Steps Gallery / 東京)
  - 第21回JAALA国際交流展 (東京都美術館)
  - les signes 2018 (Oギャラリーeyes / 大阪)
- 2017 one room (嵯峨美術大学 / 京都)
  - SAGA DASH 2017 (Art-Space MEISEI / 京都)
  - Joyful (Art-Space MEISEI / 京都)

### アーティスト ステートメント

現実と虚構の境目を曖昧にしていくような作品を制作している。人種や習慣などからくる、人々の見方の違いや、時代による変化に着目し、物事を多視点的に捉えるように心掛けている。

私の作品の中には私の空想の物語がある。その物語を、長らく美術の主題であった「歴史」や「宗教」と結びつけ、現実の空間から切り離された舞台装置のようなものを作っている。

矛盾を含んだ現実と虚構を同時に捉えた世界を表現することに渴望を抱いている。

フランスの小説『日々の泡』の前書きから以下を引用する。

その例証がここに展開する数ページで、お話は隅から隅まで想像でつくりあげたものだからこそ全部ほんとの物語になっているところが強みだ。物語のいわゆる現実化とは、傾斜して熱っぽい気分で、ムラ多くねじれの見える平面上に現実を投影することだ。

(ボリス・ヴィアン著 曾根元吉訳『日々の泡』新潮文庫)

洪 亜沙

### 展覧会について

私たちは常に何かの社会や時代に繋がれているが、それらには必ず外部がある。その外部が見えた時、自分が立つ土地は急に脆くなる。同じことはこの世界そのものについてもいえる。世界の外部を少しでも想像しようとする、この世界が存在しているのかわからなくなるときがある。

この浮遊するような感覚は、テーマパークに来たときの感覚と似ている。来場者はしばしば、テーマパークの外側を知っているが、内側の世界に没入してしまう。

今回の展覧会では、架空の歴史や宗教をつくりあげるが、それは別の現実をつくるということではない。テーマパークでの夢うつつなのである。

### Q・A

本公募に応募した理由は

3フロア使用できることに魅かれたからです。

展覧会について簡単に説明してください

アルベルティの窓の隠喩を誤読した世界と男女の痴話喧嘩を、絵画・立体・テキストを用いて物語ります。テーマパークやミュージアムといった俗世間的な空間から、フロアを上がることで、礼拝堂のような神聖な空間へ到達できるという演出をしています。

今回の展覧会(作品)について、目論見や挑戦などを教えてください

「西洋美術史」のパラレルワールドをつくることに挑戦しました。また、それをキッチュなロマコメとして表す目論見があります。テーマパーク感をうまく出せたらいいなと思っています。

現在の素材・技法はどのような理由で選択しましたか

手軽で使いやすいこと、適切であること。

これまでの作品に通底する問題意識や興味はどのようにものでしょうか

「本当のこと」や「本物」はあるのだろうか、という疑問。

今後の活動の中で目指し、取り組みたいポイントなど

もっと生(なま)の表現ができればいいなと思っています。

作品をつくることはどういうことか

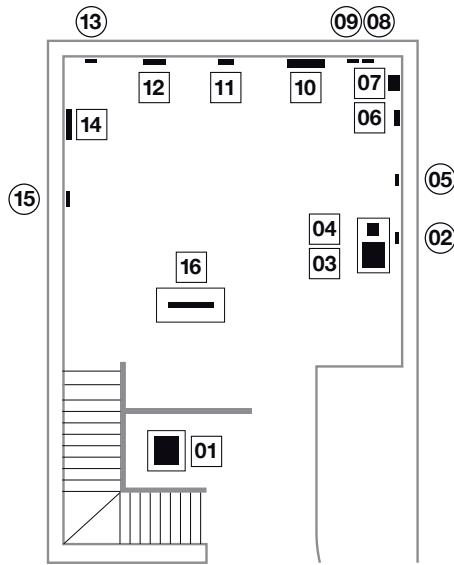
私個人にとっては、自身に課す義務であり、理由や意味はなく、ただつくるといことです。一般的には、人間の欲望の1つだと思います。

作品を見せることはどういうことか

作品の存在を確認すること。また、存在させること。

作品リスト

2F



01 地球病のアンバー

2019  
木、粘土、ろう、アクリル、ビーズ  
280×410×280

02 R国に…

2019  
ケンランにレーザープリント  
175×80

03 結婚式の様子

2019  
紙、布、木、ガラス  
52×445×370

04 コインの入った木箱

2019  
木、粘土、アクリル、紙  
130×61×61

05 この手紙を…

2019  
ケンランにレーザープリント  
258×113

06 フランシーヌとブーツ男

2019  
スタイロフォーム、粘土、アクリル  
230×235×55

07 ガラスの研究

2019  
木、布、ガラス  
50×150×110

08 6月24日…

2019  
ケンランにレーザープリント  
258×113

09 大昔に…

2019  
ケンランにレーザープリント  
258×113

10 フランシーヌの話

2019  
ミクストメディア  
可変

11 イーラン (2)

2019  
パネルに油彩、金箔  
275×221

12 うさぎの墓石

2019  
木、スタイロフォーム、粘土、アクリル、ろうそく、紙  
445×342×102

13 西から…

2019  
ケンランにレーザープリント  
258×113

14 アルベルティの一撃

2019  
木、アクリル、油彩  
501×501

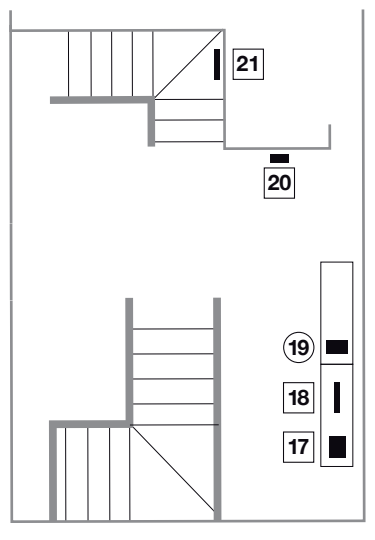
15 眠っている人に…

2019  
OHPフィルムにレーザープリント  
210×297

16 ヴェロ

2019  
木、タコ糸  
530×720×90

3F



17 Gallery PARC 2階のマケット

2019  
スチレンボード、スタイロフォーム、虫ピン、色鉛筆、ジ  
ェッソ  
275×379×540

18 自作のヴェロ

2019  
木、タコ糸  
490×690×60

19 面会室は…

2019  
ディープマットにレーザープリント  
210×297

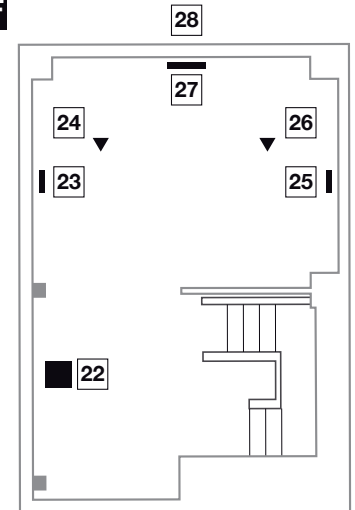
20 城の写真

2019  
インクジェットプリント、木、アクリル  
135×190

21 地球病のアンバーの絵

2019  
パネルに油彩、スタイロフォーム、紙、アクリル、粘土  
357×442×40

4F



22 城

2018  
スタイロフォーム、紙、アクリル、木  
400×400×400

23 フランシーヌ

2019  
パネルに油彩、ラメパウダー  
275×221

24 フランシーヌの立体

2018  
粘土、布、糸、油絵の具、アクリル  
280×150×150

25 ディック

2019  
パネルに油彩  
275×221

26 ブーツ男の立体

2018  
土、布、糸、油絵の具、アクリル  
210×170×190

27 イーラン

2018  
木、油彩、アクリル、金箔、ビーズ  
490×385×52

28 アンバー (2)

2018  
木、油彩、アクリル、金箔  
370×257